

じこうじ 慈光寺

真宗興正派国吉山金証院慈光寺



元は真言宗で宇多津町にありましたが、後に飯山町法勲寺に移り、さらに永正元年（室町時代）に現在の地に移り、宗派も真宗に改めました。このお寺を創った人は沙門玉泉です。永正2年に慈光寺の寺号を受けました。本尊は阿弥陀如来です。

明治6年6月の西讃暴動の放火でお堂を焼失しましたが、神仏分離の際、琴平金光院のお堂を購入、仮本堂とし明治40年に現在の本堂が建てられました。門は、大正10年に新築したものです。